

人間生活学部 健康栄養学科

出題年度：2025 年度 小論文課題

<問 3>

【出題意図】

今回の小論文課題の出題意図は、健康栄養学科のアドミッション・ポリシーのうち、「健康に関する諸問題を栄養及び運動、食文化の視点から考察し、他者を支援したい」人物であるかどうかを判断することを意図している。また、入学後の学修の基盤として求められる知識や能力として、「資料（文章・データ等）から課題や問題点を考えることができる」「課題や問題点に対する解決策の必要性を判断できる」かどうかを評価することを目的としている。

【評価のポイント】

この小論文課題では、男性と女性の運動習慣の差を客観的に考察し課題を見出し、その課題に対する解決策について自身の考えを明確に表現することができているかが評価のポイントとなる。

例として、以下のような内容が含まれていることが望ましい。

- ・わが国では、女性が家事や育児、介護等に関わる割合が高く運動のための時間を確保することが難しいことが、女性の運動習慣の少なさに繋がっていると考えられる。
- ・ジェンダーギャップを是正し、男女間の家事に従事する時間の差が少なくなるよう、国や自治体の企業等への働きかけを強化し、社会や教育における取組を推進する。
- ・運動習慣を付けさせるためのアプローチとして、軽度または短時間の運動から目標を設定させ、意欲を徐々に高めさせる。
- ・行政によるイベント開催等を通して、運動を始めるきっかけを提供する。
- ・誰もが気軽に運動を実践しやすい場を設けることにより、継続して取り組む意欲を高める。